

目 次

1. 審判メカニクス（改訂版）の発行について
2. 四人制審判の取決め事項
3. 四人制審判の新メカニクス

四 人 制

四人制審判の取決め事項

1. ポジショニング

- ① 無走者・走者三塁のとき……二塁塁審は、二塁ベースの後方に位置する。
- ② 走者一塁、二塁、一・二塁、一・三塁、二・三塁、満塁のとき……二塁塁審は、一・二塁間または二・三塁間の内側に位置する。（内野手が前進守備の場合は外側に位置する）。
- ③ 一塁塁審、三塁塁審はいずれの場合もファウルラインの外側に立つ。

2. 外野への打球の責任範囲

外野への打球を追う審判は、角度をとりながら落下点に近づき、必ず止まって判定する。

A. 二塁塁審が外側に位置した場合

- ① 左翼手より向かって左側の打球……三塁塁審。
- ② 左翼手正面の前後から右翼手正面の前後までの間の打球……二塁塁審。
- ③ 右翼手から向かって右側の打球……一塁塁審。

B. 二塁塁審が内側に位置した場合……外野への打球は追わない。

- ① 中堅手より向かって左側の打球……三塁塁審。
- ② 中堅手正面の前後より向かって右側の打球……一塁塁審。

C. 外野への打球を追った塁審は打球を判定した後その場に留まり、担当していた塁は他の審判に任せる。カバーに行った審判は、その塁の審判が戻るまで、その塁を離れてはいけない。

3. 球審の動き

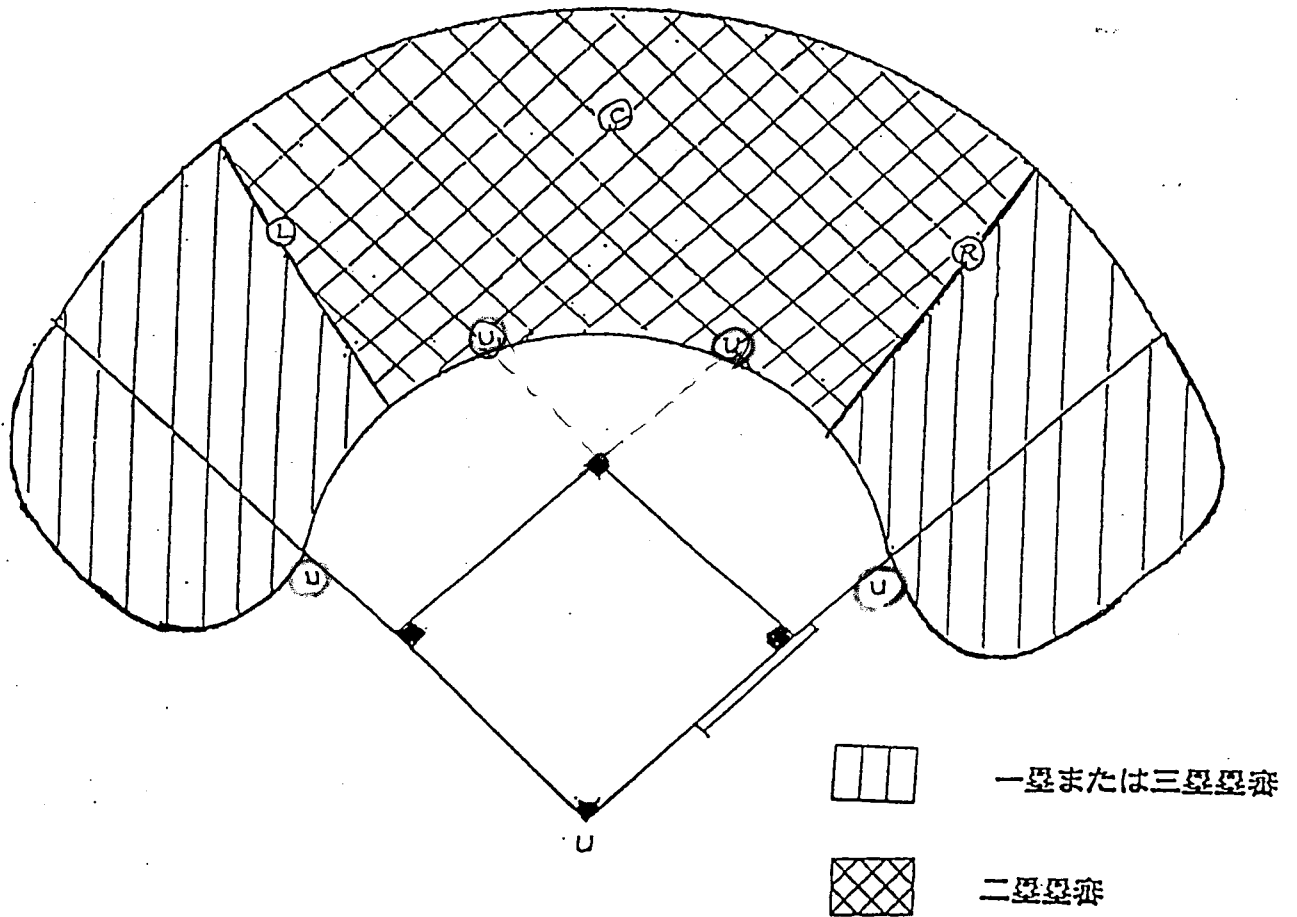
- ① 無走者、走者一塁の場合は一塁または三塁をカバーする。
- ② 走者が二塁または三塁のスコアリングポジションにいるときは本塁に留まる。

4. トラブルボール

次のトラブルボールの場合、審判はできるだけ近づいて判定する。

- ① 右翼線または左翼線寄りの打球。
- ② 外野手が前進して地面すれすれで捕る打球。
- ③ 外野手が背走するフェンス際の打球。
- ④ 野手が集まる打球。

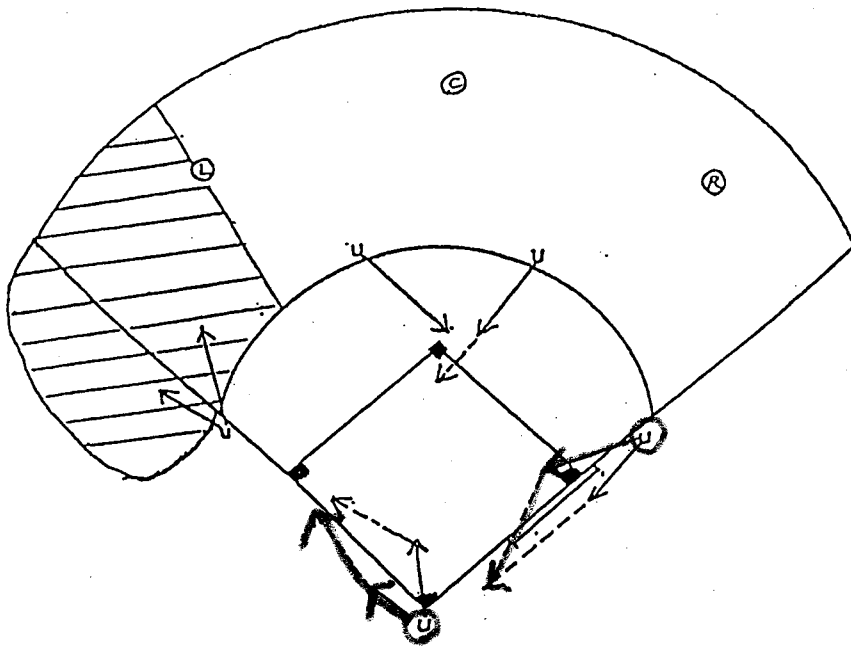
四人制 無 走 者



外野への打球の際の各審判の責任

- (1) 二塁塁審は二塁ベースの後方(芝の部分)に位置し、その位置は一塁側、三塁側どちらでも構わない。
- (2) 二塁塁審は左翼手定位置から、右翼手定位置までの打球に責任を持つ。
- (3) 一塁塁審は右翼手定位置から右翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (4) 三塁塁審は左翼手定位置から左翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (5) 球審は外野への打球に対する責任を持たない。

a 左翼手よりライン寄りの打球を三塁塁審が追った場合



PL

三塁手の“プレイに備える”。

I B

打者走者の一塁触塁を確認し、球審が三塁へ移動したら本塁での“プレイに備える”。

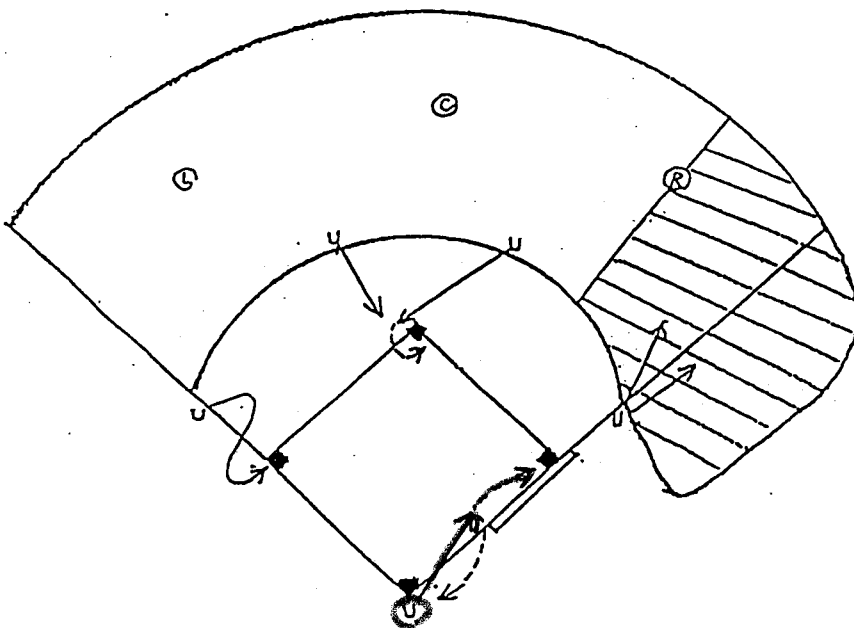
II B

二塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

b 右翼手よりライン寄りの打球を一塁塁審が追った場合



PL

一塁手の“プレイに備える”を確認し、一塁および本塁での“プレイに備える”。

I B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

二塁での“プレイに備える”。

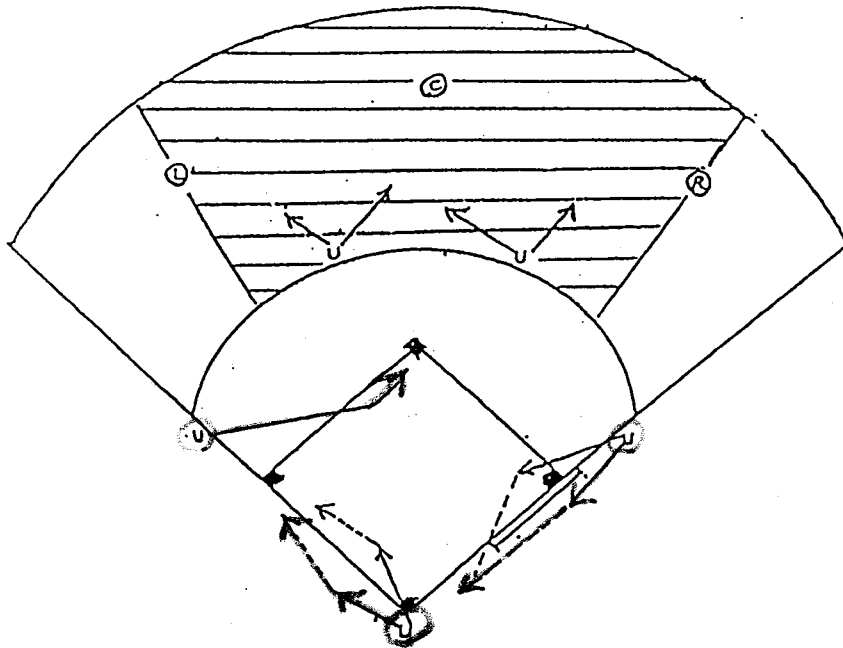
III B

三塁での“プレイに備える”。

注

“プレイに備える”…打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。
“プレイが一段落するまで”…打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

c 左投手から右投手までの打球を二塁塁審が追った場合
(二塁でのプレイが生じると思われる場合)



P L

三塁での“プレイに備える”。

I B

打者走者の一塁触塁を確認し、球審が三塁へ移動した本塁での“プレイに備える”。

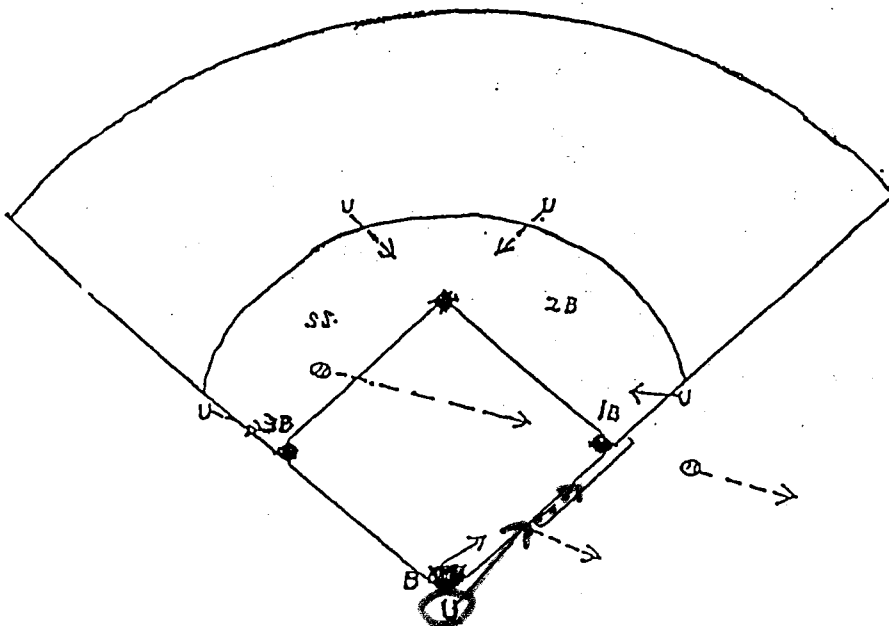
II B

打球を追い、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

III B

二塁ベース内野内へ移動し、二塁での“プレイに備える”。

d 内野ゴロによって一塁でプレイが生じるときの球審の動き



P L

打者走者の後方を監視しながら下地点についていき、その後の“プレイに備える”。

I B

一塁での“プレイに備える”。

II B

二塁での“プレイに備える”。

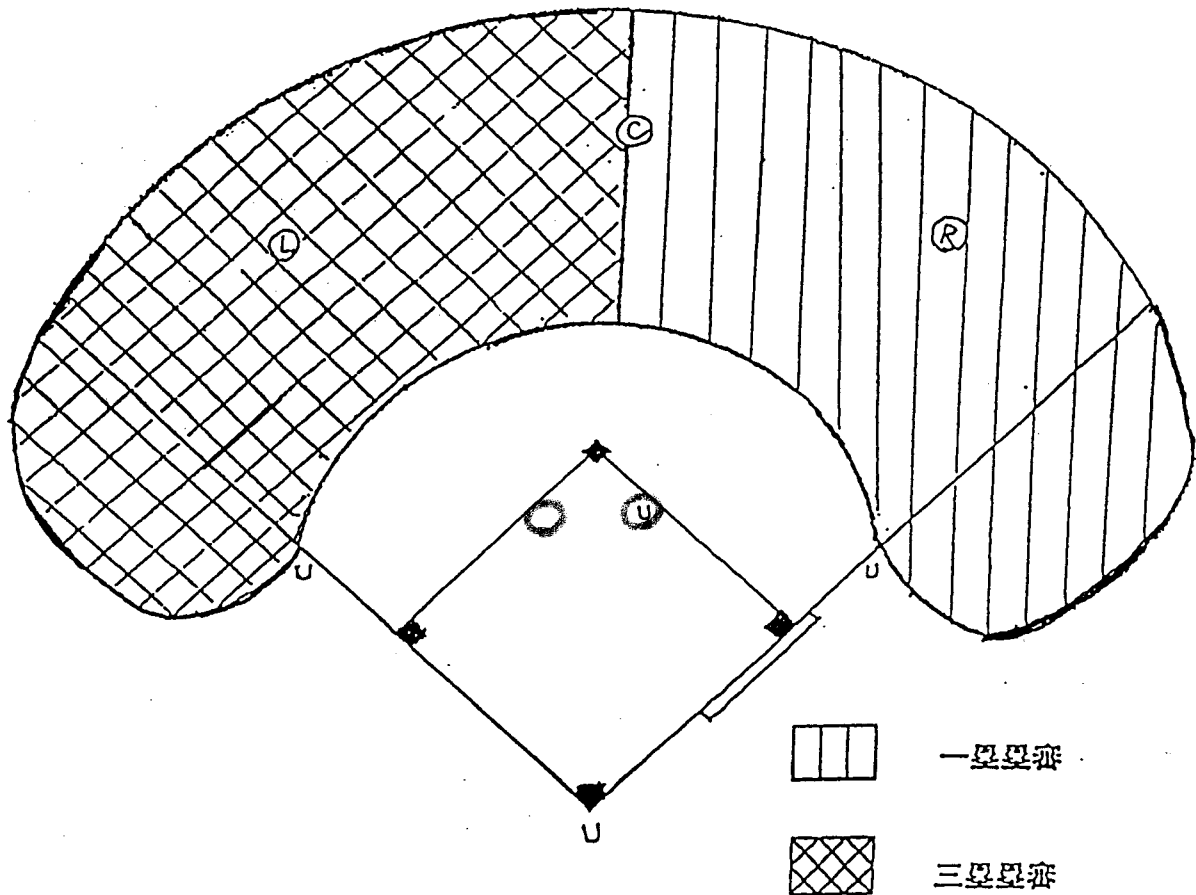
III B

三塁での“プレイに備える”。

注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。
“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

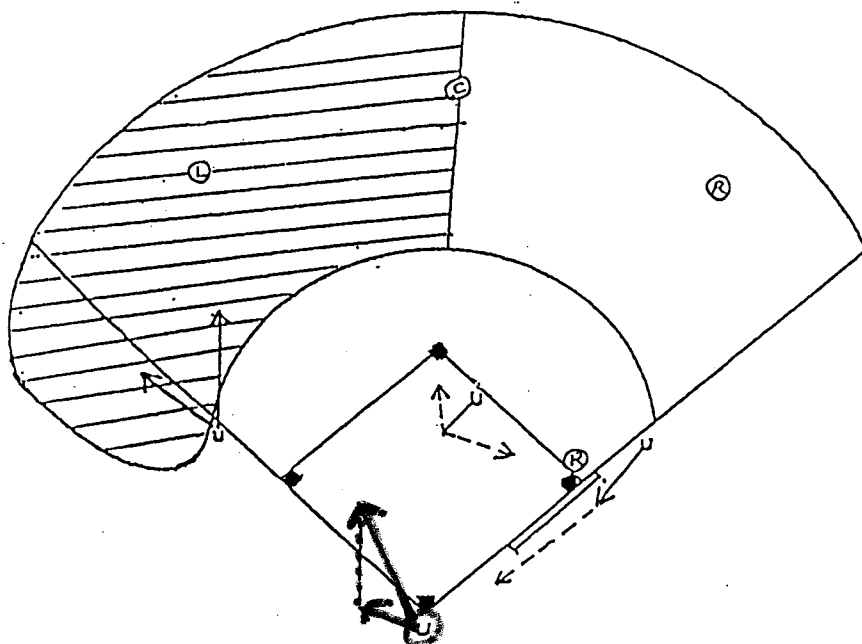
四人制 走者一塁



外野への打球の際の各審判の責任

- (1) 二塁塁審は内野内に位置し、その位置は二塁ベースの一塁寄り、三塁寄りどちらでも構わない。この場合外野への飛球(ライナー)に対する責任を持たない。
- (2) 一塁塁審は中堅手定位置から右翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (3) 三塁塁審は中堅手定位置から左翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (4) 球審は外野への打球に対する責任を持たない。

a 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合(球審が三塁に向かった場合)



PL

三塁での“プレイに備える”。

IB

一塁走者の行動(タッグアップなどを含む)および打者走者の二塁触塁を確認し、球審が三塁へ移動した日本塁へ向かう。

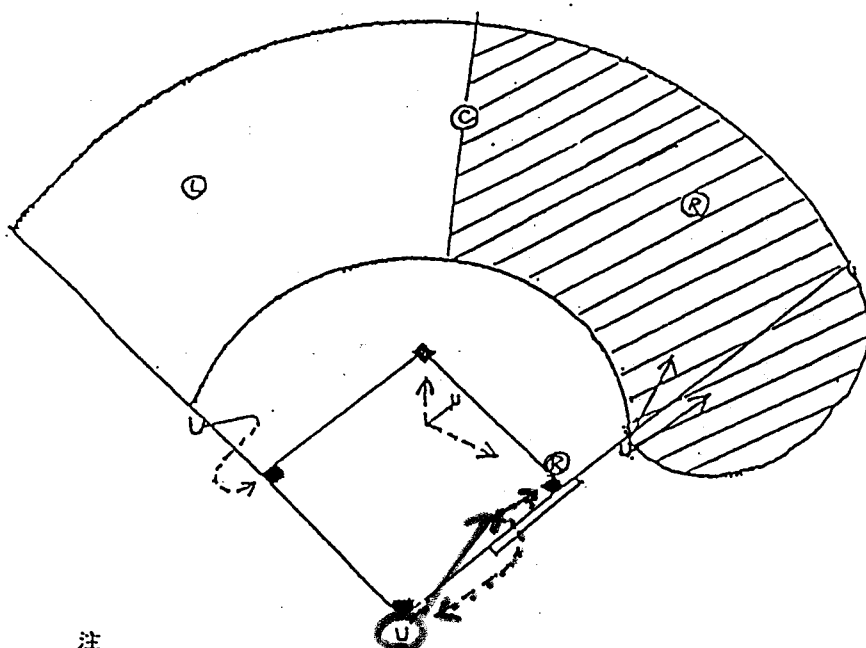
II B

視野を広げながら(ステップバック)一塁走者の二塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

b 中堅手より右側の打球を一塁塁審が追った場合



PL

一塁走者の行動(タッグアップなどを含む)および打者走者の二塁触塁を確認し、一塁および本塁での“プレイに備える”。

IB

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

II B

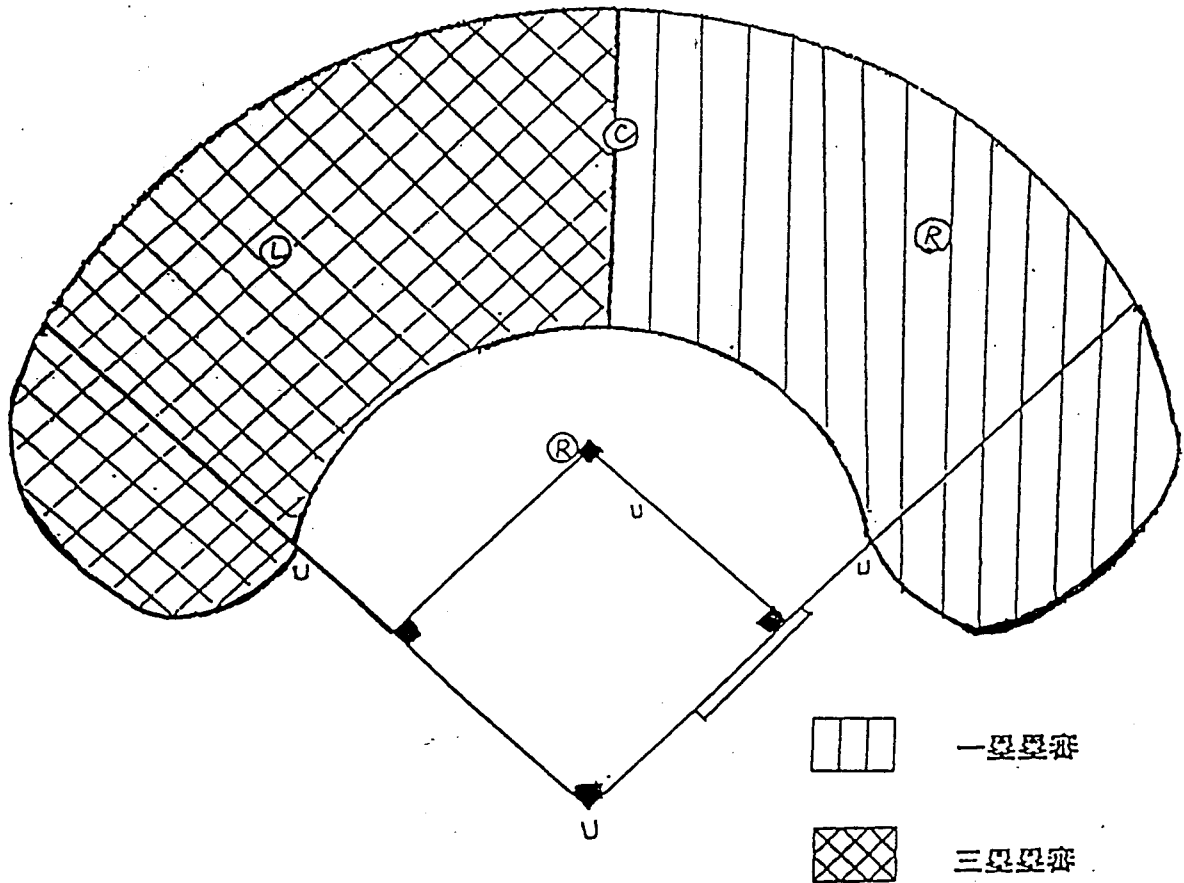
視野を広げながら(ステップバック)一塁走者の二塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

III B

三塁での“プレイに備える”。

注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。
“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。
“タッグアップなど”・・・走者のタッグアップ、追越し、オブストラクションの確認などをいう。

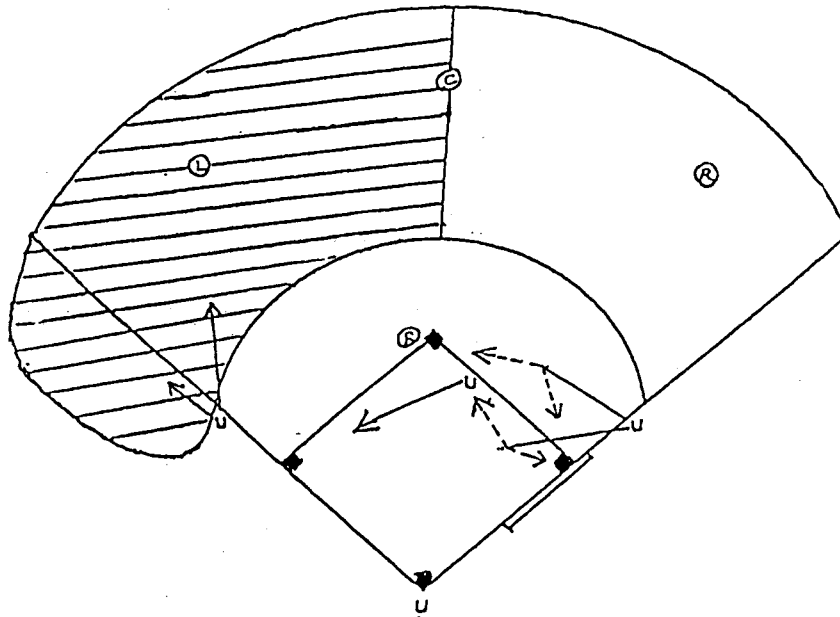


外野への打球の際の各審判の責任

- (1) 二塁塁審は内野内に位置し、その位置は二塁ベースの一塁寄り、三塁寄りどちらでも構わない。この場合外野への飛球(ライナー)に対する責任は持たない。
- (2) 一塁塁審は中堅手定位置から右翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (3) 三塁塁審は中堅手定位置から左翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (4) 球審は外野への打球に対する責任を持たない。
- (5) 外野への打球の際の各審判の責任は走者一塁の場合と同じである。

四人制 走者 二 塁

a-1 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

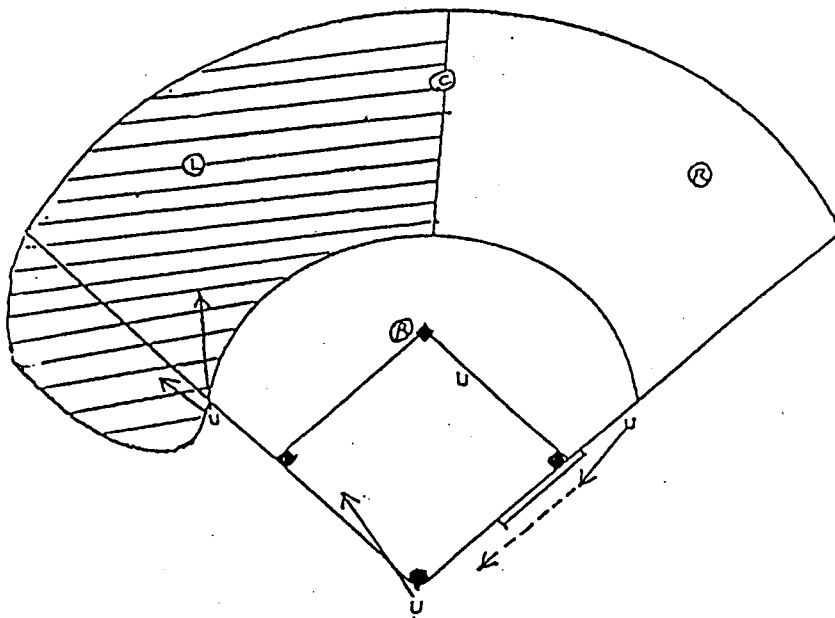
II B

二塁走者の三塁触塁を確認し、三塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

a-2 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合(二塁走者がタッグアップした場合)



P L

三塁での“プレイに備える”。

I B

打者走者の一塁触塁を確認し、球審が三塁へ移動したら本塁での“プレイに備える”。

II B

走者のタッグアップを確認し、二塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

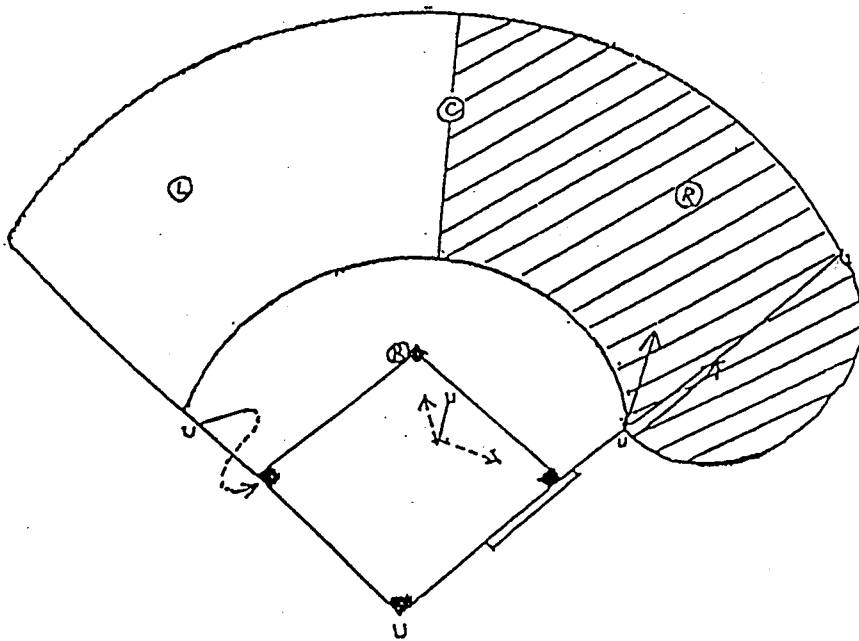
注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

b 中堅手より右側の打球を一塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

打球を追い、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

II B

視野を広げながら（ステップバック）一・二塁での“すべてのプレイ”に備える。

III B

三塁での“プレイに備える”。

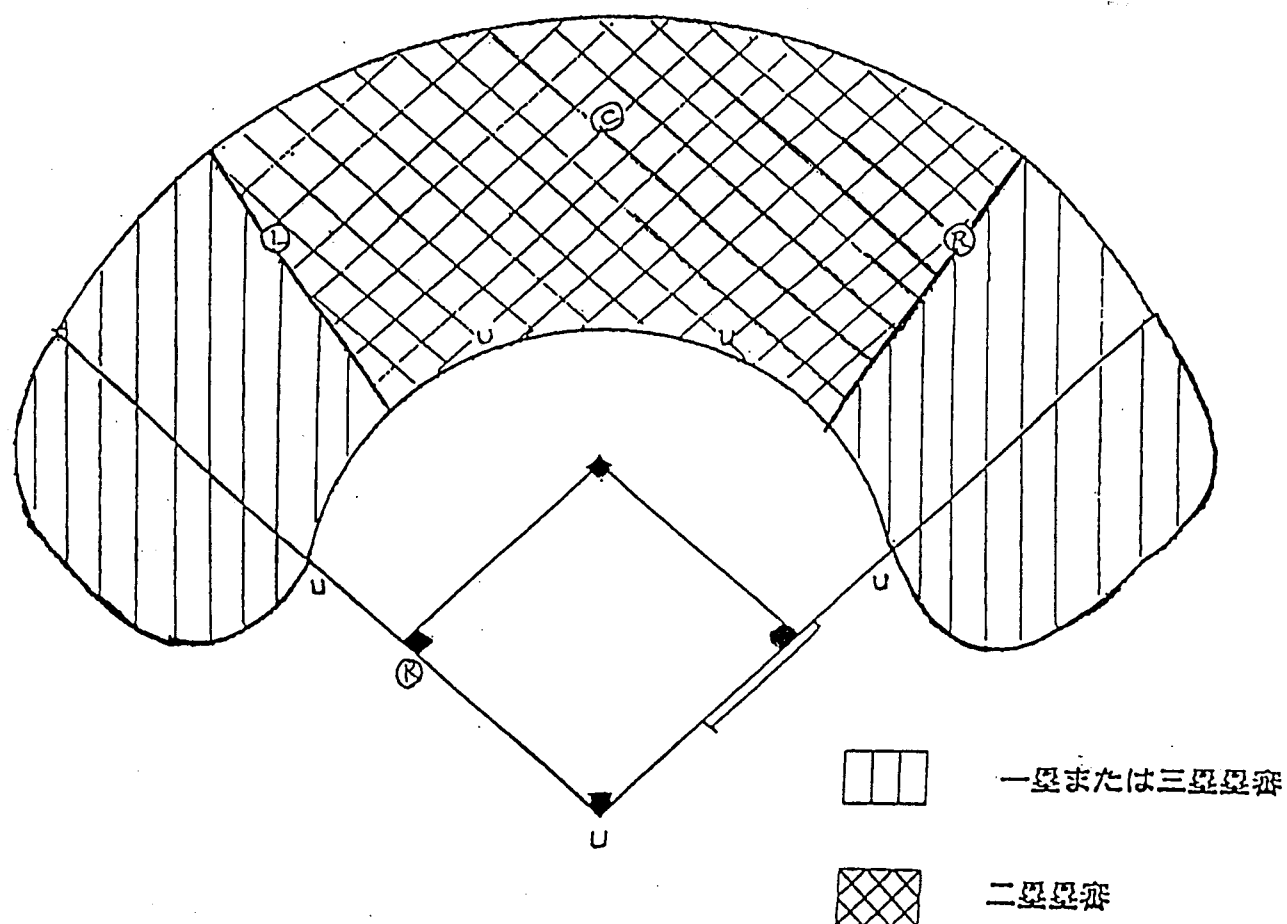
注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

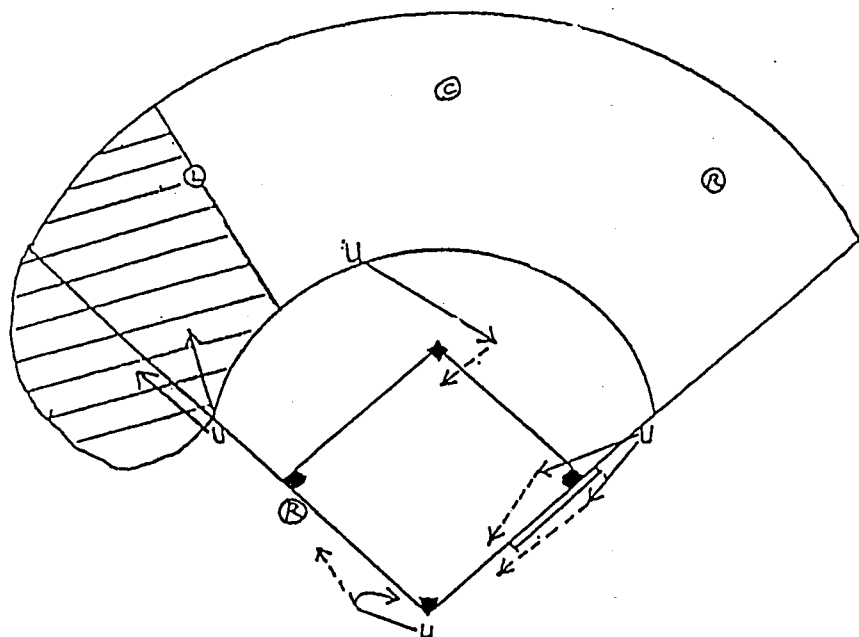
四人制 走者三塁



外野への打球の際の各審判の責任

- (1) 二塁塁審は二塁ベースの後方通常は遊撃手の後方に立つが、とくにその位置を限定するものではない。
- (2) 二塁塁審は左翼手定位置から、右翼手定位置までの打球に責任を持つが、左翼手よりに位置したときは左翼線寄りの打球以外の左翼手への打球にも責任を持つ。
- (3) 一塁塁審は右翼手定位置から右翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (4) 三塁塁審は左翼手定位置から左翼線寄りの打球に責任を持つ。
- (5) 球審は外野への打球に対する責任を持たない。
- (6) 原則として外野への打球の際の各審判の責任は無走者の場合と同じである。

a 左翼手よりライン寄りの打球を三塁塁審が追った場合



PL

三塁走者のタッグアップを確認し、本塁での
“プレイに備える”。打球がフェアヒットに
なった場合は、三塁走者の本塁触塁を確認し
ながら三塁での“プレイに備える”。

IB

打者走者の一塁触塁を確認し、球審が三塁へ
移動したら本塁での“プレイに備える”。

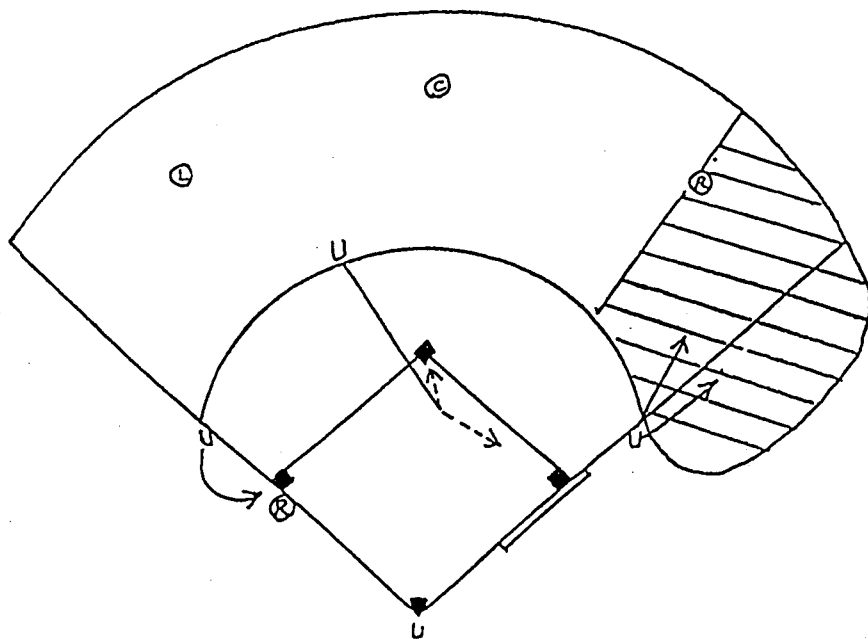
II B

二塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追い、“プレイが一段落するまで” その
場に留まる。

b 右翼手よりライン寄りの打球を一塁塁審が追った場合



PL

本塁での“プレイに備える”。

IB

打球を追い、“プレイが一段落するまで” その
場に留まる。

II B

一・二塁での“すべてのプレイ”に備える。

III B

三塁走者のタッグアップを確認し、三塁での
“プレイに備える”。

注

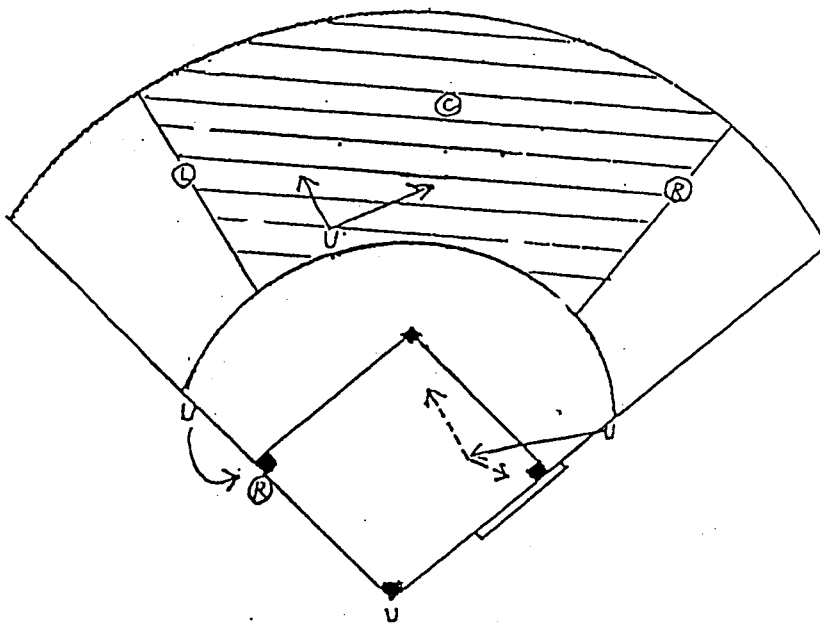
“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

四人制 走者 三塁

c 左翼手から右翼手までの打球を二塁塁審が追った場合



PL

本塁での“プレイに備える”。

IB

打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

II B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

III B

三塁走者のタッグアップを確認し、三塁での“プレイに備える”。

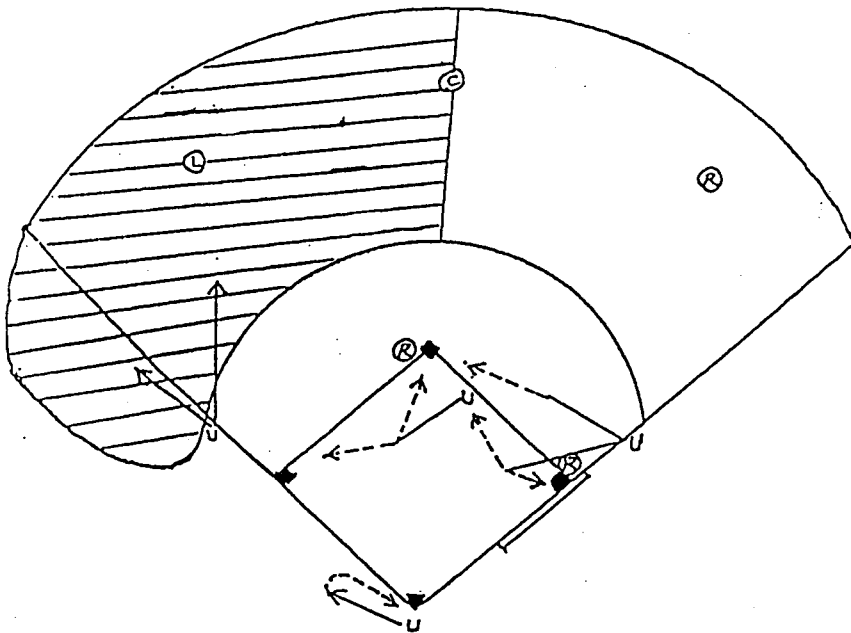
注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

a-1 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合



P L

二塁走者の三塁触塁を確認し、本塁での“プレイに備える”。

I B

打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

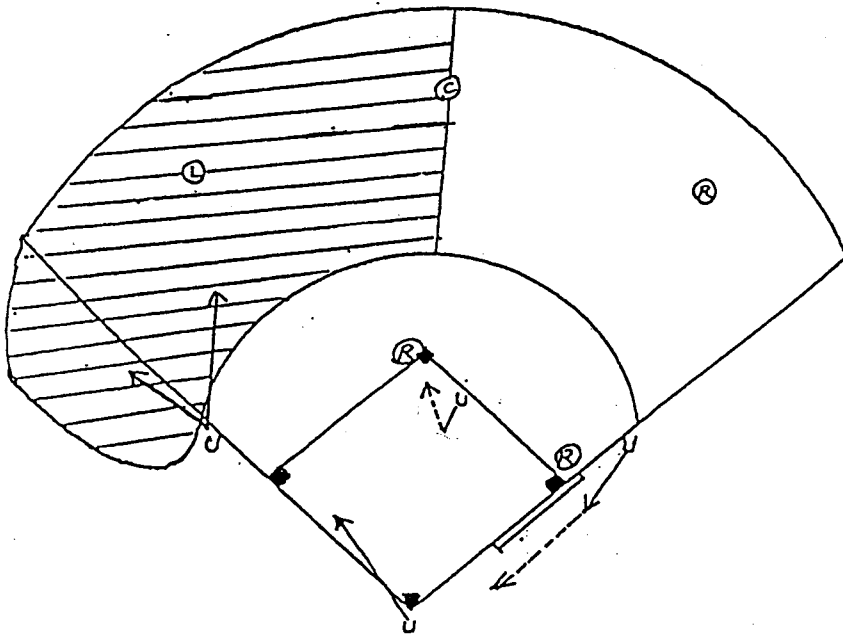
II B

一塁走者の二塁触塁を確認し、三塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

a-2 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合(走者がタッグアップした場合)



P L

三塁での“プレイに備える”。

I B

一塁走者のタッグアップを確認し、本塁での“プレイに備える”。

II B

二塁走者のタッグアップを確認し、二塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

注

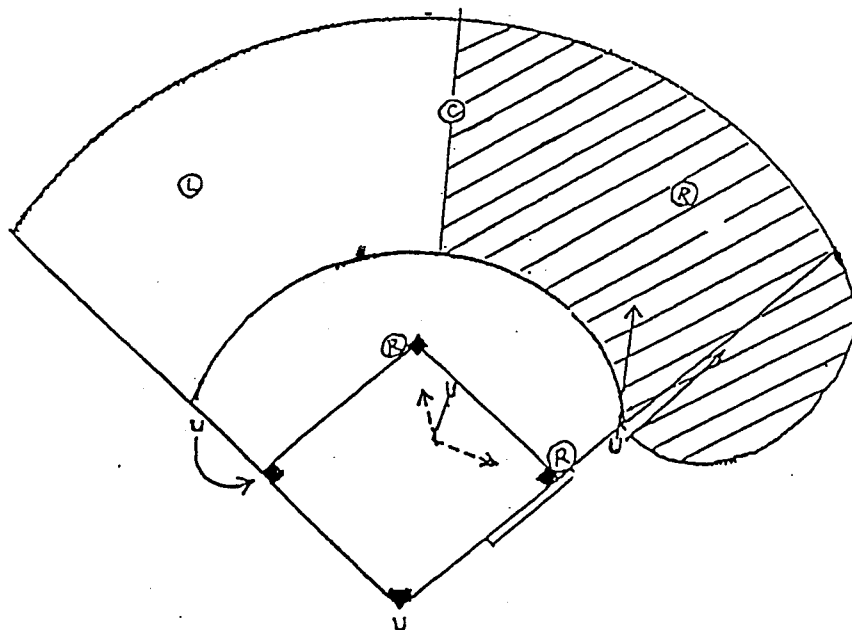
“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“タッグアップなど”・・・走者のタッグアップ、追越し、オブストラクションの確認などをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

b 中堅手より右側の打球を一塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その場に留まる。

II B

視野を広げながら（ステップバック）一・二塁での“すべてのプレイ”に備える。

III B

三塁での“プレイに備える”。

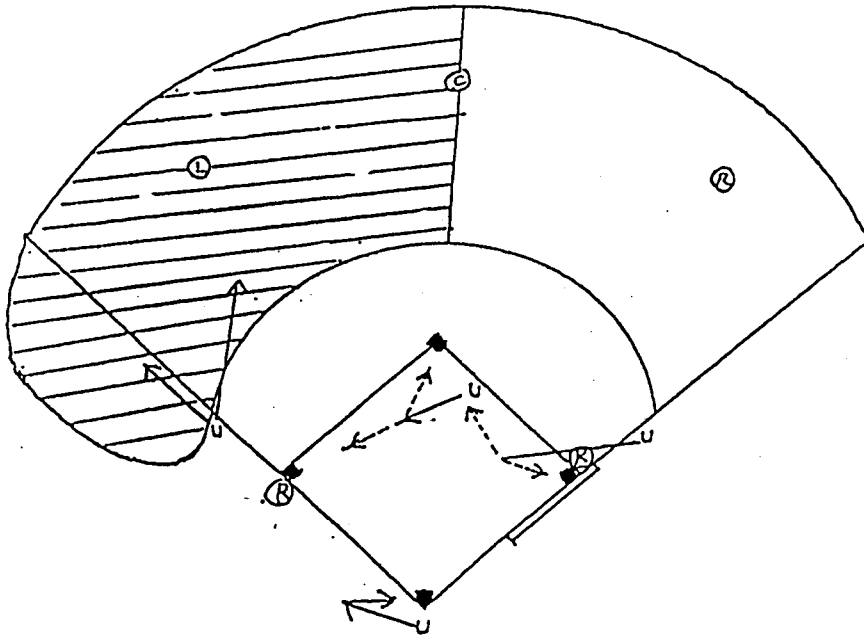
注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

a 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合



P L

三塁走者のタッグアップを確認し、本塁での
“プレイに備える”。

I B

内野内に移動し、一塁走者の行動(“クッグア
ップなどを含む”)および打者走者の一塁触塁
を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

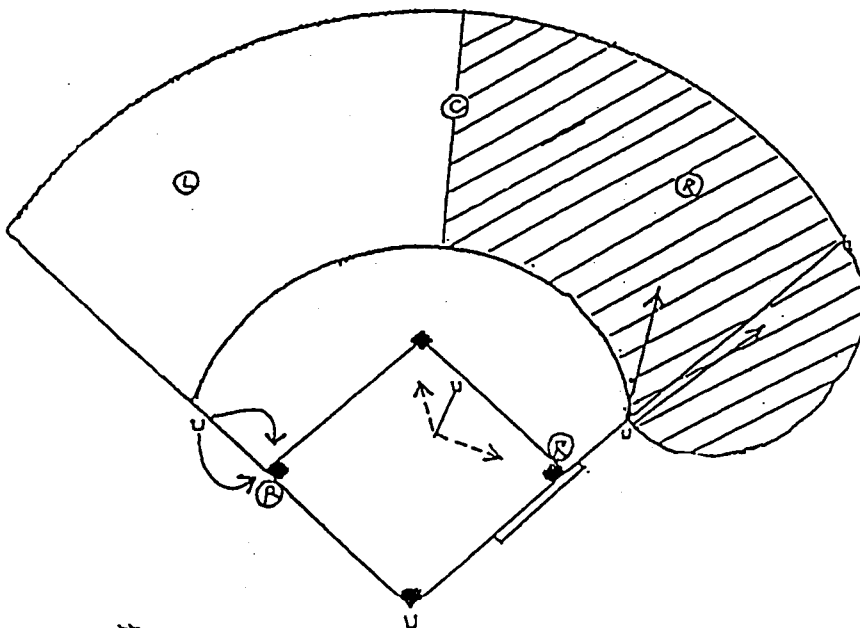
II B

一塁走者の二塁触塁を確認し、二・三塁での
“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その
場に留まる。

b 中堅手より右側の打球を一塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その
場に留まる。

II B

一塁走者および打者走者の一・二塁での“すべ
てのプレイ”に備える。

III B

三塁での“プレイに備える”。

注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

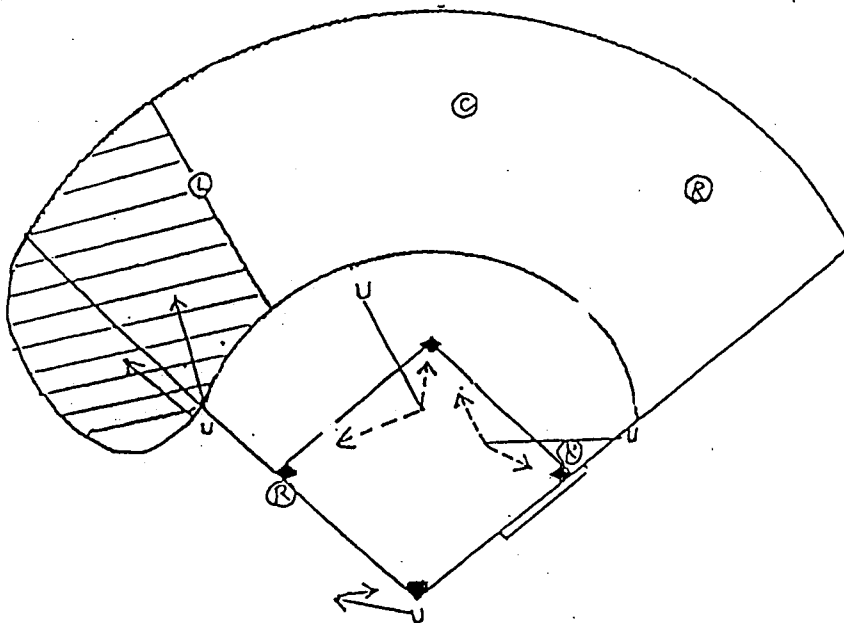
“タッグアップなど”・・・走者のタッグアップ、追越し、オブストラクションの確認などをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

四人制 走者 一・三 塁

(二塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合)

a 左翼手よりライン寄りの打球を三塁塁審が追った場合



PL

三塁走者のタッグアップを確認し、本塁での
“プレイに備える”。

IB

内野内に移動し、一塁走者の行動 (“タッグア
ップなど”を含む) および打者走者の一塁触
塁を確認し、一・二塁での “プレイに備える”。

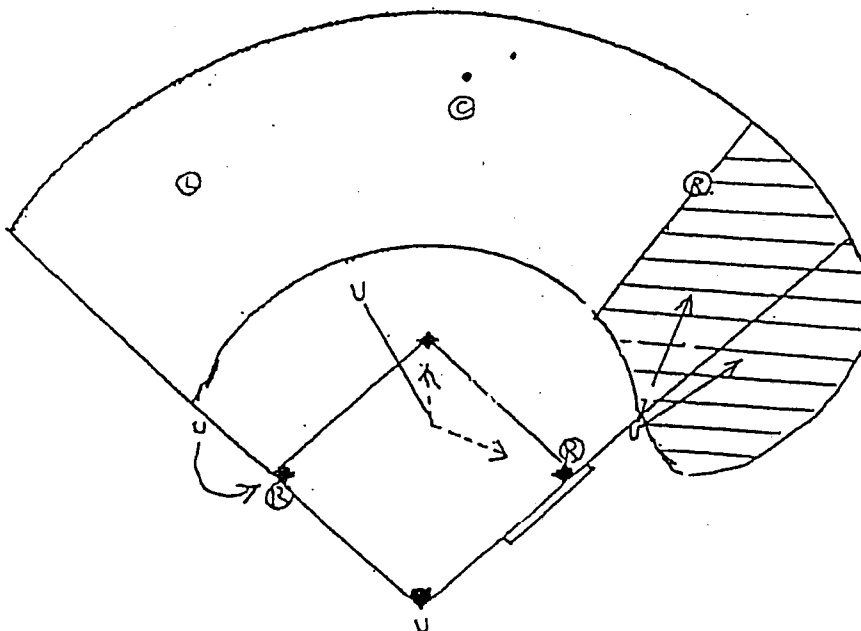
II B

一塁走者の二塁触塁を確認し、二・三塁での
“プレイに備える”。

III B

打球を追、 “プレイが一段落するまで” その
場に留まる。

b 右翼手よりライン寄りの打球を一塁塁審が追った場合



PL

本塁での “プレイに備える”。

IB

打球を追、 “プレイが一段落するまで
その場に留まる。

II B

内野内に移動し一塁走者および打者走
一・二塁での “すべてのプレイに” 備

III B

三塁走者のタッグアップを確認し、三
の “プレイに備える”。

注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

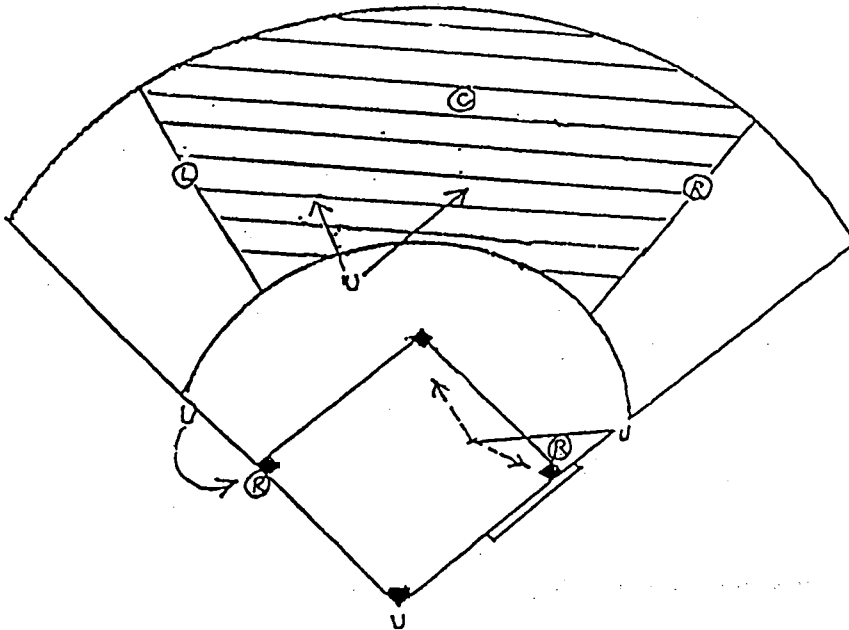
“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“タッグアップなど”・・・走者のタッグアップ、追越し、オブストラクションの確認などをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

(二塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合)

c 左翼手から右翼手までの打球を二塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

内野内に移動し、一塁走者の行動(“タッグアップなど”を含む)および打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

II B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

III B

三塁での“プレイに備える”。

注

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

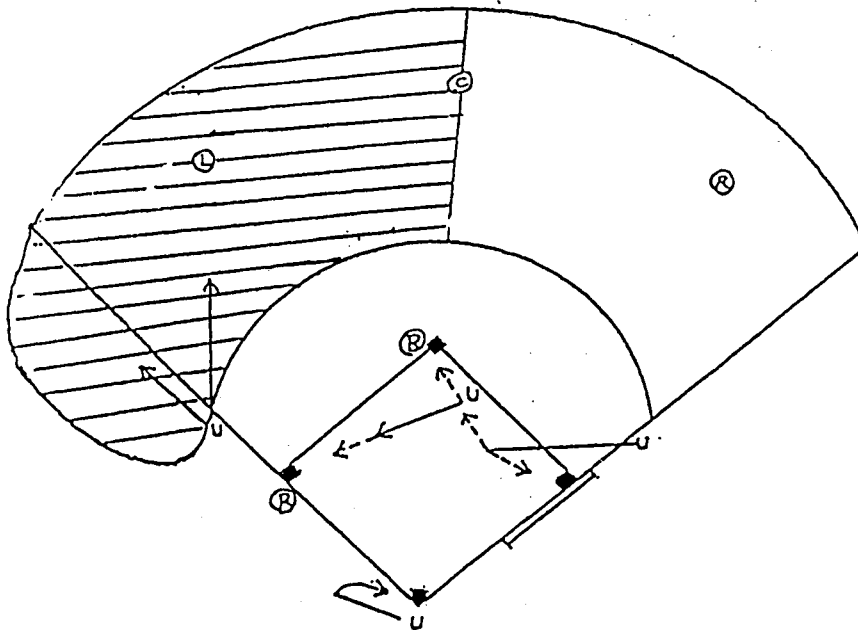
“タッグアップなど”・・・走者のタッグアップ、追越し、オブストラクションの確認などをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

四人制 走者 二・三 塁

(二塁塁審が内側に位置した場合)

a-1 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

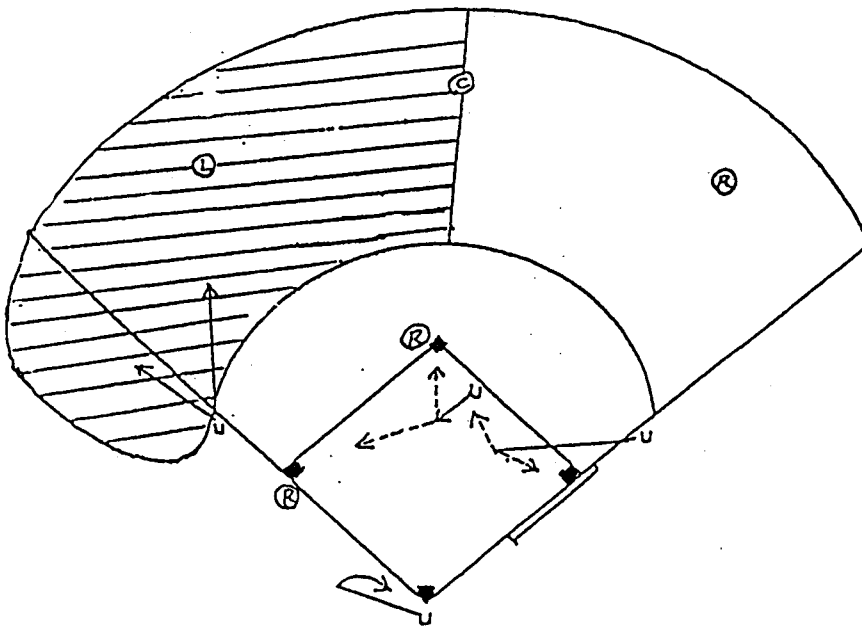
II B

二塁走者の三塁触塁を確認し、三塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

a-2 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合(走者がタッグアップした場合)



P L

三塁走者のタッグアップを確認し、本塁での“プレイに備える”。

I B

打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

II B

二塁走者のタッグアップを確認し、三塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

注

“プレイに備える”…打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

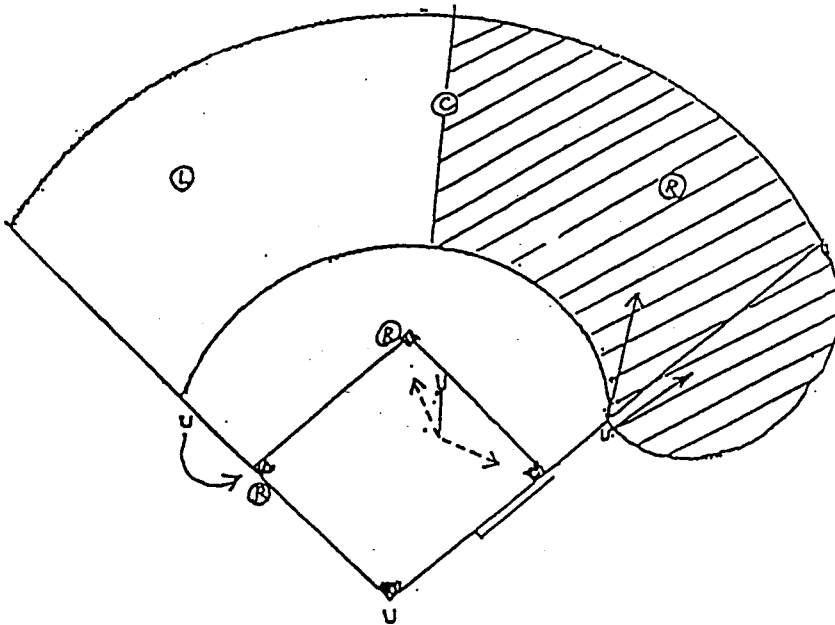
“プレイが一段落するまで”…打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”…触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

四人制 走者 二・三 塁

(二塁塁審が内側に位置した場合)

b 中堅手より右側の打球を一塁塁審が追った場合



PL

本塁での“プレイに備える”。

I B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

II B

視野を広げながら(ステップバック)一・二塁での“すべてのプレイ”に備える。

III B

三塁走者のタッグアップおよび二塁走者の三塁触塁を確認し、三塁での“プレイに備える”。

注

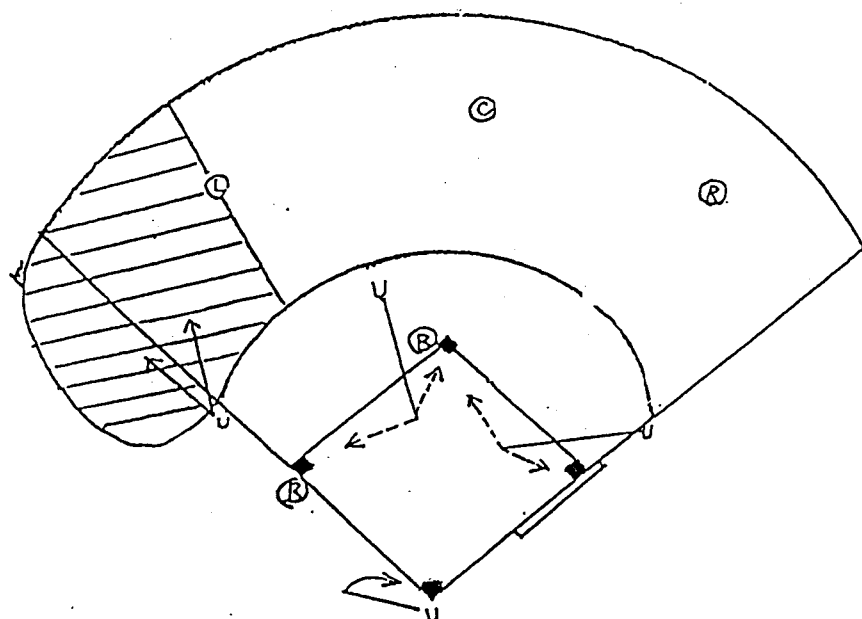
“プレイに備える”…打球および送球の行方を確認し、走者の行動を視察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”…打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”…触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

(二塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合)

a 左翼手よりライン寄りの打球を三塁塁審が追った場合



PL

三塁走者のタッグアップを確認し、本塁での
“プレイに備える”。

IB

打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での
“プレイに備える”。

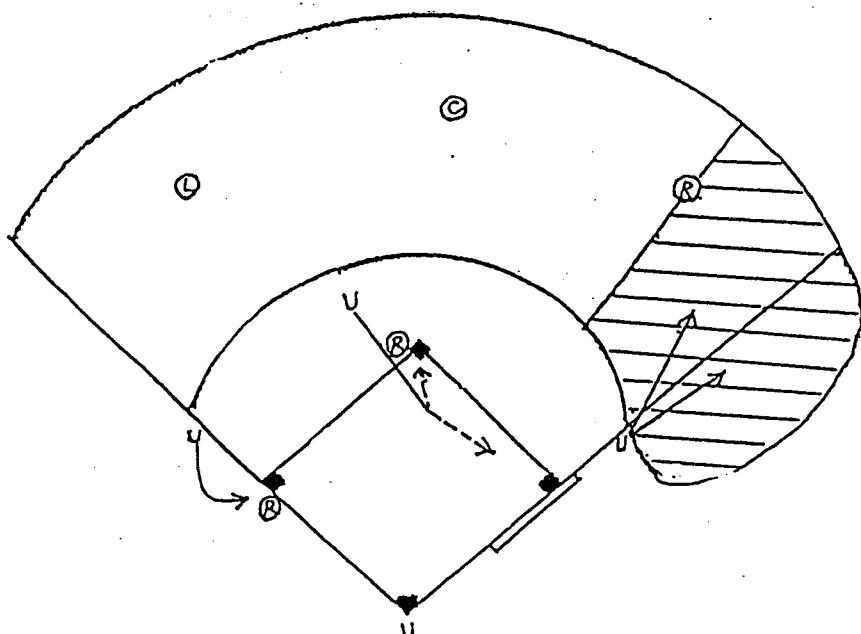
II B

二塁走者のタッグアップまたは三塁触塁を確認し、三塁での
“プレイに備える”。

III B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その
場に留まる。

b 右翼手よりライン寄りの打球を一塁塁審が追った場合



PL

本塁での“プレイに備える”。

IB

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで” その
場に留まる。

II B

一・二塁での“すべてのプレイ”に備える。

III B

三塁走者のタッグアップを確認し、三塁での
“プレイに備える”。

注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

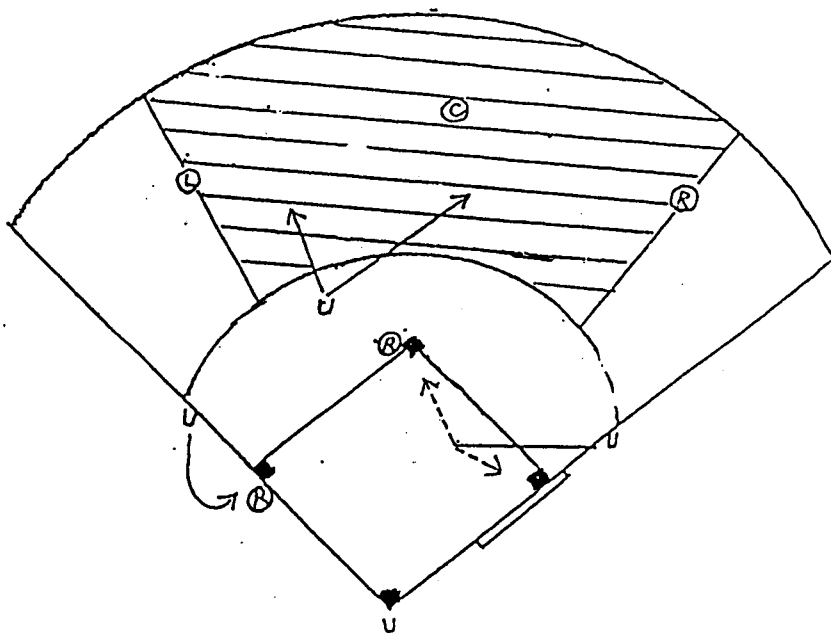
“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

四人制 走者 二・三 塁

(二塁塁審が外側に位置した場合および内野手が前進守備の場合)

c 左翼手から右翼手までの打球を二塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

二塁走者のタッグアップおよび打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

II B

打球を追ひ、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

III B

三塁走者のタッグアップを確認し、三塁での“プレイに備える”。

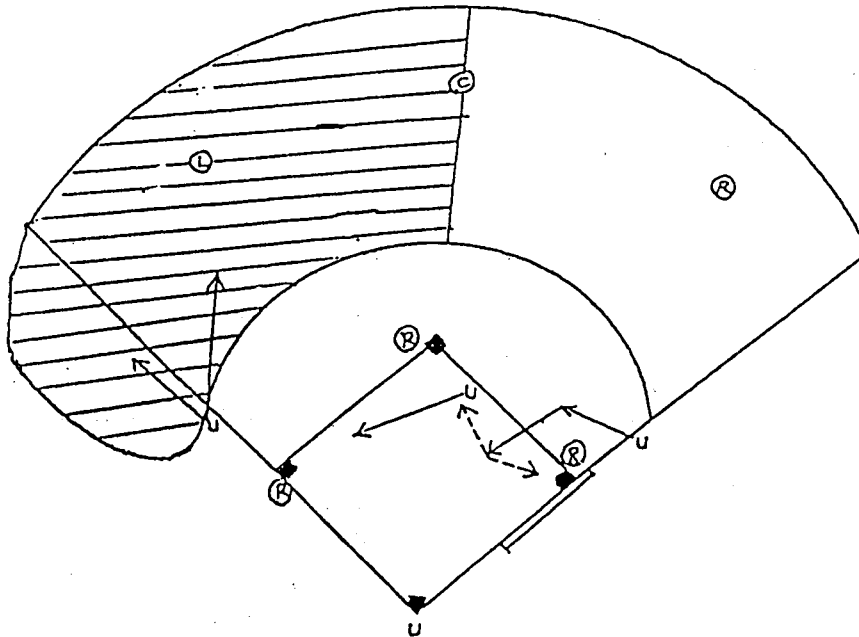
注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

a-1 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合



PL

本塁での“プレイに備える”。

1B

一塁走者の二塁触塁および打者走者の一塁触塁を確認し、一・二塁での“プレイに備える”。

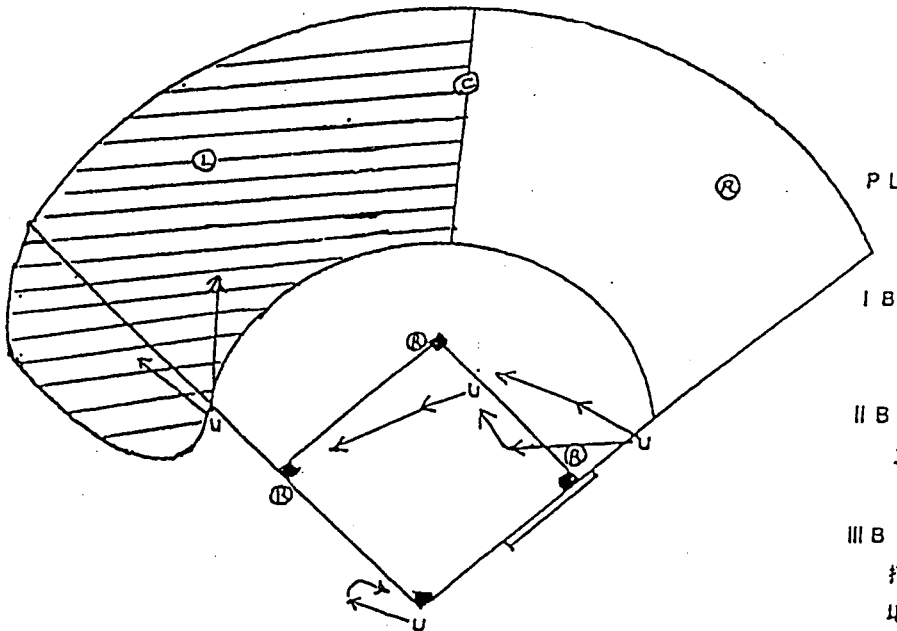
II B

二塁走者の三塁触塁を確認し、三塁での“プレイに備える”。

III B

打球を追い、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

a-2 中堅手より左側の打球を三塁塁審が追った場合(走者がタッグアップした場合)



PL

三塁走者のタッグアップを確認し、本塁での“プレイに備える”。

1B

一塁走者のタッグアップを確認し、二塁での“プレイに備える”。

II B

二塁走者のタッグアップを確認し、三塁での“プレイに備える”。

III B

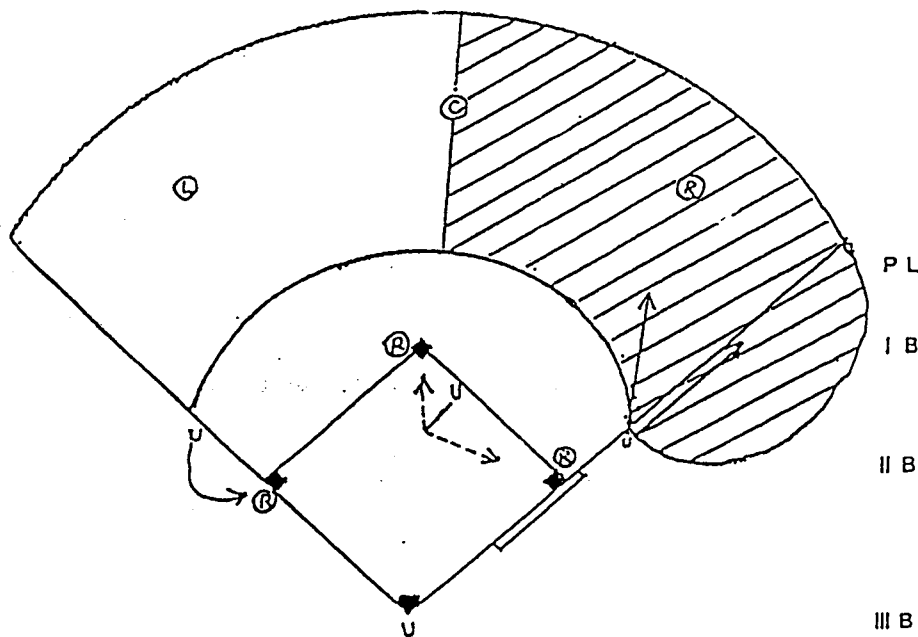
打球を追い、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

注

“プレイに備える”・・・打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。
“プレイが一段落するまで”・・・打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。
“すべてのプレイ”・・・触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。

四人制 走者 一・二・三 塁
(二塁塁審が内側に位置した場合)

b 中堅手より右側の打球を一塁塁審が追った場合



P L

本塁での“プレイに備える”。

I B

打球を追い、“プレイが一段落するまで”その場に留まる。

II B

視野を広げながら(ステップバック)、一・二塁走者のタッグアップを確認し、一・二塁での“すべてのプレイ”に備える。

III B

三塁走者のタッグアップおよび二塁走者の三塁触塁を確認し、三塁での“プレイに備える”。

注

“プレイに備える”…打球および送球の行方を確認し、走者の行動を観察しながら塁上でのプレイに備えること。

“プレイが一段落するまで”…打球が処理され、野手から内野方向に返球されるまでをいう。

“すべてのプレイ”…触塁、タッグアップ、ランダウンプレイなどをいう。